

移行支援(進路指導)について

1 高等部卒業生の進路状況

	名 称	R1	R2	R3	R4	R5
進学	大 学 ・ 短 大		1			1
	専 門 学 校					
	テ ク ノ ス ク ー ル					
就職	公 務 員 ・ 公 共 団 体			1		
	一 般 事 業 所	1	1	1		
県外施設	身体障害者能力開発校					
	職業リハビリテーションセンター					
	国立障害者リハビリテーションセンター					
	リハビリテーションセンター					
福祉施設	就 労 移 行 支 援	2				
	自 立 訓 練	1		1	1	3
	就 労 継 続 支 援 (B 型)	1	3	2		
	生 活 介 護	11 (複1)	5 (複2)	5 (複1)	8 (複6)	4 (複1)
	地 域 活 動 支 援 セ ン タ ー				(複1)	
	療 養 介 護	1				1
その他	在 宅	1				
在 籍 生 徒 数		18	10	10	9	9

※(複 数字)は、2つ以上事業所を複数利用している方の人数です。

2 各学部における進路指導

各学部では、将来の参考のために保護者による事業所見学を積極的に進めています。

(1) 小学部

小学部では、進路アンケートにより、保護者の進路に関する意見や要望を知り、ニーズに応える方策を考えていきます。将来に向けて、生活のリズムが安定し、日中の活動に参加できる力、気持ちや意思を表出する力、様々な人と関わる力を育てます。

(2) 中学部

中学部では、保護者との共通理解を図りながら、生徒一人一人に応じた進路指導を学級、学年と連携して行います。

- ・進路アンケートの実施
- ・個別懇談での進路相談
- ・制度や施設、サービスなどの情報提供
- ・当校高等部教育の説明
- ・高等部校内実習の見学、体験

生徒の中学部卒業後の進路、事業所やサービスの利用に向けて、生徒の意欲・関心・態度や知識、心身の安定、環境に適応する力を養います。

(3) 高等部

高等部では、「総合的な探求の時間」「自立活動」「生活実践」「生活探求」などの時間や学習活動全体を通して、進路学習を行っています。また、進路に関わる行事を実施しています。

【事業所見学】

見学期間を設け、生徒と保護者とで福祉事業所を見学していただいています。それぞれのサービス内容や施設の雰囲気などを知り、生徒に適した事業所かどうか検討したり、複数の事業所を比較検討したりしながら、主体的に進路選択できるようにしています。

【職場実習・校内実習】

2、3年生は、春季と秋季の2回、職場実習を実施しています。企業や官公庁、福祉事業所などで実習に取り組みます。企業や官公庁では、実習先に行き、業務を体験します。業種によっては、学校や自宅で、リモートで実習を行うこともあります。福祉事業所では、実習先に行き、利用者の方と一緒に軽作業に取り組んだり、レクリエーション等の活動に参加したりします。事業所によっては、入浴などの事業所のサービスを体験するなど、一人一人の実態に応じた活動を行います。

1年生は、春季と秋季の実習期間中に1週間の校内実習を設定して、校外での実習に備えた基礎的なスキルを養います。

【進路に関わる行事】

- ・「ビジネスマナー講座」・・・外部講師をお招きして、挨拶練習や面接講座などを行います。
- ・「卒業生の話を聴く会」・・・いろいろな進路先に進んだ数人の卒業生から、進路先での生活や仕事の様子等、映像を交えながら紹介してもらっています。

卒業生交流コーナー

例年、秋の「しんよう祭」で卒業生が交流する場を設定しています。毎年参加される方や今春卒業したばかりの卒業生など、多くの方からご参加いただいています。久しぶりに再会した旧友や先生方と互いの近況を報告し合いながら、和やかな雰囲気の中で、楽しいひとときを過ごしています。

※令和元年度より、新型コロナウイルスの感染防止のため、実施していません。

今年度の実施は現時点では未定です。